

プラナリアの世話のしかた 3年()組 なまえ()

プラナリアの特徴

○プラナリアは、虫めがねで見ると、ちゃんと眼が2個あって、何ともユーモラスな顔をしています。プラナリアは扁形動物(へんけいどうぶつ)に属し、配ったものは「ナミウズムシ」という種類です。



「プラナリアの頭部」

寄り目をしていて、かわいいですね。



「分裂(ぶんれつ)したプラナリア」

最初3匹だったのに、3日でこんなにふえました。

○プラナリアの特徴(とくちょう)は、切断(せつだん)すると再生(さいせい)してふえることです。2つに切ると、片方からは頭、もう片方からは尾が再生して、じきに2匹になります。たてに切れ目を入れると、頭部が2つある個体もできます。切らなくても勝手に分裂して、顔のない、尾の部分も普通に動き回ります。そのうち頭ができて、数がどんどん増えます。○エサは動物質のもの、特に豚のレバーが好きです。豚レバーは切りにくいですが、細かく切って冷凍しておくと、エサやりが楽です。豚レバー以外でも、豚肉(赤身)、ホタテガイ、とり肉なども食べますが、やはり豚レバーが一番好きで、よく増えます。

世話のしかた

○20匹ぐらいまでなら、R1(LG21)の容器でそのまま飼えます。増えたら、飼育ケースなど、もっと広い入れ物に移してください。

○底に砂利や砂を入れないでください。もぐってどこにいるかわからなくなります。水草も不要。

○水は水道水で大丈夫です。特にカルキぬきや、くみ置きする必要はありません。

○エサは週に2~3回でオッケーです。

○エサはほんの少力で大丈夫です。凍ったまま入れて大丈夫です。旅行に行くときは、1週間ぐらいエサをあげなくても大丈夫です。



○プラナリアの口は、お腹側にあるので、エサにだきつくようにして食べます。

○1時間ぐらいして、プラナリアがエサからはなれたら、エサごと水をすててください。その時、プラナリアが容器のかべに、へばりついていることをよく確認しながら、ゆっくり水をすててください。

○何度か水を入れて、すてて、きれいな水にしてください。レバーのかけらが残ると、水が腐る(くさる)ので注意しましょう。時々、プラナリアが水面に浮くことがあります、特に心配ありません。

○水温が25℃以上にならないようにしましょう。

○暑い日は冷蔵庫に入れて大丈夫です。氷を浮かべても良いです。

○プラナリアが増えすぎたり、飼えなくなったら、学校で引取りますので、持ってきてください。